

令和元年 10 月 29 日

令和元年度青少年創造性開発海外交流インドネシア派遣団について

公益社団法人 発明協会

発明協会は、令和元年 10 月 20 日（日）から 27 日（日）まで、「青少年創造性開発育成海外交流インドネシア派遣団」をインドネシアに派遣した。

同派遣団は、当協会主催事業である「全日本学生児童発明くふう展」（第 76、77 回）、「未来の科学の夢絵画展」（第 40、41 回）及び「全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」（第 8、9 回）において優秀な成績を収めた青少年 14 名で構成され、10 月 23 日（水）から 25 日（金）の三日間、インドネシア科学院（LIPI: Lembaga Ilmu Pengetahuan Indonesia）の主催により開催された「2019 世界青少年発明工夫展」（IEYI: International Exhibition for Young Inventors）に参加した。

展覧会場となったインドネシア・コンベンション・エキシビションには、開催地インドネシアを初め、中国、ロシア、シンガポール等 11 か国・地域の青少年が創作した発明品 126 点と、絵画 14 点が展示され、創作者は各自の展示ブースにおいて来場者・審査員に対し作品プレゼンテーションを英語で行った。

日本からの派遣団員も各国・地域の青少年と互いの創作品の紹介を通じて交流を深め、また来場した地元の青少年とも積極的に交流を行い、会場は連日大いに賑わった。

最終日 25 日（金）の夜には表彰式が行われ、会期中の審査員の評価を基に、金銀銅の各メダル、参加国から任意に贈られる特別賞の贈呈が行われた。

日本派遣団として参加した学生・児童 11 作品 14 名（うち絵画 2 作品 2 名）は以下のとおり全員が各賞を受賞した。また、日本からの特別賞として、今回の派遣団の特別協賛企業である荏原製作所より荏原賞が、発明協会より発明協会賞と奨励賞が贈られた。

| 種別 | 受賞総数 (絵画含む) | 日本の受賞数 |
|-----|----------------|--------|
| 金 賞 | 28 | 4 |
| 銀 賞 | 32 | 4 |
| 銅 賞 | 33 | 2 |
| 特別賞 | 78 | 8 |
| 計 | 171 | 18 |

【日本派遣団の受賞結果】

<創作品部門>

・金賞

Technologies for Special Needs 部門（14歳未満）

松岡 陽（伊達市立伊達中学校2年） [「車輪形状変形システム」](#)

鈴木 創妃光（大田区立六郷中学校1年） [「パッと着られる！ランドセルレインポンチョ」](#)

Technologies for Special Needs 部門（14歳以上）

阿部 将大（北海道札幌南高等学校1年） [「車いす用逆進防止装置」](#)

・銀賞

Green Technologies 部門（14歳以上）

高田 稜（福岡県立福岡工業高等学校3年） [「模型自動車へのワイヤレス電力伝送」](#)

Technologies for Special Needs 部門（14歳以上）

和地 亮太郎（私立共愛学園高等学校3年） [「車椅子がはまらない踏切安全システム」](#)

Education and Recreation 部門（14歳未満）

中澤 里菜（千葉市立花園中学校2年） [「ビーダマプレーヤー」](#)

・銅賞

Education and Recreation 部門（14歳未満）

末光 洋仁（下松市立久保中学校1年） [「どんどんすすめ！ミミズくん」](#)

Education and Recreation 部門（14歳以上）

清水 蓮（大阪市立玉津中学校3年）、清水 嵐（大阪市立中道小学校5年） [「昔あそび」](#)

<絵画部門（14歳未満）>

・金賞

新関 琥太郎（十和田市立南小学校5年） [「折り紙電池」](#)

・銀賞

山本 伊織（湖西市立湖西中学校1年） [「地しん力発電」](#)

(各国・地域特別賞)

・中国特別賞

鈴木 創妃光 (大田区立六郷中学校 1年)

・インドネシア特別賞

松岡 陽 (伊達市立伊達中学校 2年)

・フィリピン特別賞

松岡 陽 (伊達市立伊達中学校 2年)

・澳門特別賞

和地 亮太郎 (私立共愛学園高等学校 3年)

・マレーシア特別賞

清水 蓮 (大阪市立玉津中学校 3年)、清水 嵐 (大阪市立中道小学校 5年)

・タイ特別賞

中澤 里菜 (千葉市立花園中学校 2年)

・台湾特別賞

阿部 将大 (北海道札幌南高等学校 1年)

・ロシア特別賞

元明 華衣 (都城市立沖水中学校 1年)、松山 柚乃花 (都城市立沖水小学校 5年)、

元明 誠華 (都城市立沖水中学校 3年)

[「きっくいやんせ〜みやこんじょのよかまつり〜」](#)



開会式の様子



作品を説明する中澤団員



作品を説明する阿部団員



作品を説明する和地団員



各国の作品を見学する日本団員



各国の参加者と記念撮影



各国の参加者と記念撮影

ステージで発表する松岡団員



表彰式の様子



表彰式の様子



受賞後の記念撮影

世界青少年発明工夫展 2019

(1) 主催

インドネシア科学院 (LIPI : Lembaga Ilmu Pengetahuan Indonesia)

(2) 開催場所

インドネシア・コンベンション・エキシビション (インドネシア タンゲラン市)

(3) 展覧会開催期間

令和元年 10 月 23 日 (水) ~25 日 (金)

(4) 参加国・人数

11 か国・地域 (140 作品、257 名)

中国、インドネシア、日本、マカオ、マレーシア、フィリピン、ロシア、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム

青少年創造性開発育成海外交流事業について

発明協会の青少年創造性開発育成海外交流事業は、1988 年から開始され、2004 年以降は、「世界青少年発明工夫展」への派遣を実施している。

世界青少年発明工夫展 (略称:IEYI) について

2004 年、世界各国の発明奨励団体における協力関係を築くため、世界 9 カ国の各機関代表者等が来日し、発明協会主催の「発明奨励国際フォーラム 2004」(International Forum for Invention Promotion/略称:IFIP)を開催。

同会議において、青少年を対象とした国際発明展「世界青少年発明工夫展(IEYI)」を毎年開催することとなり、現在まで開催が続けられている。開催される国と地域については、本会議の参加メンバーにより決定されている。



本派遣団は、競輪の補助を受けて実施しております。

特別協賛

株式会社 荏原製作所

<本件に関するお問い合わせ>

公益社団法人発明協会 青少年創造性グループ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-9-14

Tel : 03-3502-5434 / FAX 03-3502-3485

e-mail : souzou@jiii.or.jp